

# 情報モラルの育成

携帯電話、インターネットの安全な使い方を学ぼう

さいたま市立栄小学校

## 1 ねらい

校内LANの設備が整ったことにより、コンピュータ室での調べ学習（総合的な学習の時間、社会、理科など）をする機会が増え、さらに、教室でも教材に役立つ映像をインターネットからオンデマンドで入手し、大型液晶テレビを使って児童に提供できるようになった。また、携帯電話を所有している児童や自宅でインターネットを利用している児童が増えている。そこで、これらの便利さの影にある危険な場面から児童が自分自身を守れるように情報モラルについての理解を図る。

## 2 指導計画

- (1) インターネット利用規程を定め、全教職員の共通理解を図る。
- (2) 児童にネット社会でのトラブルを避けるスキルを身に付けさせる。

## 3 授業実践

- (1) 携帯電話、インターネットの使用状況を確認する。
- (2) 青少年の情報モラル啓発DVD「その『つながり』大丈夫？」を視聴する。
- (3) めあての確認をする。

めあて「携帯電話、インターネットの安全な使い方を学ぼう」

- (4) 携帯電話、インターネットに関する問題に取り組みさせる。
- (5) 危険な使い方を体験する。
  - ・無料ダウンロードの表示画面をクリックをして、被害にあう場面を体験する。



- (6) 安全な使い方を確認する。
- (7) 授業の感想を書く。



## 4 成果と今後の課題

全学年での情報モラルの定着をする必要があるとの反省を受け、今年度も引き続き低学年での充実を図った。映像の観ることや体験を通し、児童の多くは一人で情報機器に触れることに危険を感じ、安全な使い方を理解できたことは成果である。

低学年はパソコン室等でコンピュータ等の情報機器に触れる機会が少なく情報モラルについて指導する機会が少ないことが課題である。少しずつ情報機器に触れる機会を増やし、情報モラルを継続して指導し定着を図っていく。